

第2次総合計画

施策評価・進捗管理調書(内部評価結果)

基本方針(政策)	6	地域生活に活力を生む社会基盤を着実に整備します
計画項目(施策)	14	計画的な土地利用の推進
＜施策分野＞		＜土地利用＞

所管部局	所管部局長の氏名
建設部	中西 和義

1. 総合計画で掲げている目的など

PLAN

施策の目的	まちづくりの将来像を実現するため、公共の福祉の向上と地域の活性化をめざし、地域の特性を十分に活かした総合的かつ計画的な土地利用を推進します。 都市計画区域については、住民の豊かな暮らしをめざし、丹後地域の中核として、計画的かつ合理的な土地利用と効果的な都市基盤整備を進め、にぎわいとふれあいのある都市を形成します。
施策方針(めざす姿)	山陰近畿自動車等の広域交通網や道路、鉄道等の都市基盤整備効果を活かし、京阪神及び中京圏等の大都市との物流や交流の促進を図り、地域産業の活性化、既存商店街の活性化及び都市サービス機能の向上をめざします。 また、適正な土地利用の規制と誘導により、災害に強く安心な街づくりをめざすとともに、都市機能を用途別に集積し、便利でにぎわいと活力のある都市づくりを進めます。

【参考】施策に関連する個別計画

計画名称	計画概要	策定年月	計画期間	備考
京丹後都市計画区域マスタープラン	市における人口・産業の現状及び将来の見通し等を勘案して、長期的視点に立った都市の将来像を明確にするとともに、その実現に向けての大きな道筋を明らかにし、都市計画の基本的な方向性を示すもの	平成27年3月	計画期間の定めなし	概ね20年後の都市の姿を展望し、10年以内に整備するものを示す

2. 行政の主な取組と構成事務事業一覧

DO

CHECK

行政の主な取組			予算額(単位:千円)		事務事業の概要					評価結果	
↓			H26決算額	H27予算額 (一般財源)	根拠 法令	財政 負担	単独 事業	事業 種別	施 策 貢献度	今後の 方向性	
事務事業名称・事業内容(実績)			担当課								
① 計画的な土地利用の推進											
○「京丹後市都市計画マスタープラン」に基づき、総合的かつ計画的な土地利用を推進します。											
1	都市計画総務一般経費	都市計画・建築住宅課	1,770	678 (627)	市規定	府・ 一部	含む	内部 管理	A	現状維持	
都市計画業務の推進に係る事務経費					平成26年度事業の一部を繰り越して 実施する事業						
2	都市計画総務一般経費【明許繰越】	都市計画・建築住宅課	-	3,294 (3,294)							
京丹後市都市計画マスタープランの策定業務に係る経費											
3	指定管理施設運営事業	都市計画・建築住宅課	53,272	62,910 (55,910)	義務	単費	○	-	A	拡大	
指定管理による都市公園の維持管理(峰山途中ヶ丘公園、峰山総合公園、八丁浜シーサイドパーク)											
② 秩序ある整備と計画的かつ合理的な土地利用の推進											
○ 山陰近畿自動車道や駅を基本に市街地環境の形成をめざし、商業地、工業地、住宅地等の用途地域の指定を検討します。											
○ これまで整備されてきた都市基盤の既存ストックを活かし、誰もが暮らしやすく、機能的な都市活動ができるまちなか再生、居住環境の改善等に取り組みます。											
○ 特定大規模小売店舗誘導エリアの指定を検討します。											
○ 適正な土地利用を誘導するため、新たな都市計画区域を市民に周知します。											
4	都市公園環境整備事業【再編交付金活用事業】	都市計画・建築住宅課	-	42,200 (2,200)	新規事業						
峰山途中ヶ丘公園駐車場増設に係る用地測量・実施設計経費、用地購入費											
上記の「行政の主な取組」への位置付けが困難な事業											
5	地籍調査事業	管理課	5,878	14,984 (4,034)	国規定	単費	○	内部 管理	A	拡大	
山陰近畿自動車道の早期整備促進に係る経費(測量・土地所有者調査)、地籍調査経費											
			計	60,920 (66,065)							

【参考】総合計画で掲げている市民等の役割

市民等の役割	①「京丹後市都市計画マスタープラン」の策定に積極的に参加します。 ②「京丹後市都市計画マスタープラン」に沿った土地利用に努めます。 ③地域の将来像に向かってまちづくりを進めるため、住民や土地の所有者等の関係者が合意形成を図りながら、都市計画法に定める地区計画を積極的に活用します。
--------	--

【参考】個別計画で掲げている目標値

指標名	説明・備考	単位	計画作成時	実績値(現状)	目標値
			年度	年度	年度
京丹後都市計画区域マスタープラン					
都市計画道路のうち幹線街路(43.49km)の整備率		%	37.2 H22	37.2 H26	約71.9 H37

3. 総合計画で掲げている施策方針(めざす姿)とめざす目標値

施 策 方 針 (めざす姿)	山陰近畿自動車等の広域交通網や道路、鉄道等の都市基盤整備効果を活かし、京阪神及び中京圏等の大都市との物流や交流の促進を図り、地域産業の活性化、既存商店街の活性化及び都市サービス機能の向上をめざします。 また、適正な土地利用の規制と誘導により、災害に強く安心な街づくりをめざすとともに、都市機能を用途別に集積し、便利でにぎわいと活力のある都市づくりを進めます。							
	め ざ す 目 標 値	指標名	単位	計画作成時		実績値(現状)		目標値
				年度		年度		年度
幹線街路の整備率(整備済み延長16.16km)		%	37.2	H26	37.2	H26	71.9	H36
	都市公園の供用面積	ha	22.4	H26	22.4	H26	29.0	H36

4. 施策方針(めざす姿)に対する現状評価

CHECK

施策方針(めざす姿)に対する主な成果(アウトカム)	施策方針(めざす姿)の達成に向けての課題
「京丹後市まちづくり計画」に示された都市軸を踏まえ、新たな都市計画区域及び都市計画区域マスタープランを検討し、法手続きを経て平成27年3月31日に京都府決定となった。	○都市計画区域について、山陰近畿自動車道及びIC接続道路の整備を視野に入れた土地利用展開、都市施設の整備効果を勘案し、「京丹後市都市計画マスタープラン」を早期に策定し、計画的かつ合理的な土地利用と秩序ある都市形成を図る必要がある。 ○市民のレクリエーション空間のほか、良好な都市景観の形成、都市の防災上の向上など多様な機能を有する都市の根幹的な施設として位置付けている都市公園について、市民にとってより利用しやすく有効な施設となるよう、機能充実を図る必要がある。

5. 施策の進捗状況の評価[施策方針(めざす姿)の達成に向け、施策がどの程度進捗しているか]

CHECK

進捗状況区分	評価	理由
◎ 予定以上に進んでいる	▲	都市計画区域マスタープランの調整に予想以上の事務が必要であったことと併せて、山陰近畿自動車道の計画変更を同時進行する必要が生じたため、京丹後市都市計画マスタープランの作成が少し遅れている。
○ 予定どおり進んでいる		
▲ 少し遅れている		
× 大幅に遅れている		

6. 今後の施策展開と歳出抑制の考え方(平成28～30年度までの3か年の主な取組)

ACT

区分	No.	具体的内容	説明(特定財源名、補完・代替措置等)
施策展開の考え方	1	京丹後市都市計画マスタープランに即した土地利用の指導と誘導	
	2	都市公園機能の充実(途中ヶ丘公園、峰山総合公園)	再編交付金、社会資本整備総合交付金
	3	山陰近畿自動車道の早期整備に向け、国が行う道路事業がスムーズにできるよう、土地調査、境界確定等をスケジュールに沿って着実に実施していく必要がある。	地籍調査事業補助金
歳出抑制(歳入確保)の考え方			

予算科目	08土木費	04都市計画費	01都市計画総務費	50都市計画総務一般経費		
細事業名	01 都市計画総務一般経費				決算書	P.288
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市		計画項目	① 適正な土地利用の推進	
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 (②－①)	執行率	(参考) 当初予算額
1,770千円		5,084千円		3,314千円	34.8 %	1,334千円
目的	都市計画業務の推進及び都市計画審議会の運営に係る事務を円滑に進める。					
主要な事務・事業及び成果の概要	都市計画業務（事業）を推進する上で必要な経費を支出した。					
	○都市計画審議会の開催（2回）					123千円
	・ 委員報酬 116千円 （4,000円×延べ29人）					
	・ 費用弁償 7千円					
	※委員数19人（報酬支払対象16人）					
	○都市計画広報誌（2回発行）					380千円
	○都市計画区域に係る建築関係質疑応答集作成（地区配布）					70千円
	○都市計画区域参考図作成					702千円
	○都市計画関連団体会費負担金（4団体）					63千円
	○その他事務の経費					
職員旅費、書籍代、公用車修繕代、有料道路通行料、					432千円	
久美浜街なみ整備施設管理費（公園水道代、街路灯保険料）						
		参考	繰越明許費を除いた最終予算額		1,790千円	
			実質的な予算執行率		98.8%	
■平成27年度への繰越事業						
・ 京丹後市都市計画マスタープラン策定委託 平成28年3月完了予定					3,294千円	
主な財源	府補 土地利用規制対策費交付金					46千円
評価・課題等	○「京丹後市まちづくり計画」に示された都市軸を踏まえ、新たな都市計画区域及び都市計画区域マスタープランを検討し、法手続きを経て平成27年3月31日に京都府決定となった。					
	○将来の都市構造の実現に向け、京丹後市都市計画マスタープランを策定する必要がある。					
事業所管課		建設部／都市計画・建築住宅課				

予算科目	08土木費	04都市計画費	03公園費	01公園等指定管理運営事業	
細事業名	01 指定管理施設運営事業				決算書 P.292
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市		計画項目	① 適正な土地利用の推進
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率	(参考) 当初予算額
53,272千円		53,276千円	4千円	99.9 %	51,839千円
目的	都市公園の峰山途中ヶ丘公園、峰山総合公園及び八丁浜シーサイドパークを適正に維持管理し、利用者が快適、安心及び安全に利用できるようにする。				
主要な事務・事業及び成果の概要	指定管理施設の管理費を支出した。				
	○峰山途中ヶ丘公園、総合公園維持管理経費		31,077千円		
	・ 指定管理委託料		29,982千円		
	・ 修繕料		161千円		
	・ 用地賃借料（借上面積：1,995㎡）		202千円		
	・ 備品購入		568千円		
	テニスコート用ベンチ（12脚）、少年用サッカーゴール（1対）				
	・ その他（消耗品、看板電気代、保険料）		164千円		
	○八丁浜シーサイドパーク維持管理経費		15,817千円		
	・ 指定管理委託料		15,248千円		
・ 修繕料		513千円			
・ その他（保険料）		56千円			
○工事請負費		6,378千円			
・ 峰山総合公園テニスコート改修工事		4,320千円			
・ 八丁浜シーサイドパーク芝生広場改修工事		2,058千円			
(参考) 都市公園利用状況					
施設名		利用者数	利用料金	施設名	利用数 利用料金
峰山途中ヶ丘公園		80,095人	614千円	八丁浜シーサイドパーク	28,830人 261千円
峰山総合公園		77,590人	1,981千円	八丁浜有料駐車場	5,752台 2,876千円
主な財源	使用料	都市公園占用料			13千円
	使用料	公有財産使用料			144千円
	繰入金	地域の元気づくり基金繰入金			3,000千円
	諸収入	市有建物損害共済金			118千円
評価・課題等	○都市公園の維持管理を適正に実施し、利用者の安心・安全な利用に供することができた。				
	○各都市公園の設備及び備品について、経年劣化が目立ってきており、計画的な更新をすることにより、安全で利用しやすい施設として維持していく必要がある。				
事業所管課		建設部／都市計画・建築住宅課			

予算科目	08土木費	01土木管理費	01土木総務費	03地籍調査事業
細事業名	01 地籍調査事業			決算書 P.278
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	① 適正な土地利用の推進
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率 (参考) 当初予算額
5,878千円		5,947千円	69千円	98.8 % 6,826千円
目的	国土調査法による地籍調査を行い、適正な土地利用の推進を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	山陰近畿自動車道の早期整備促進に係る土地利用を図るため、大宮町森本地区で測量基準点の設置及び土地所有者の調査を行った。 ○嘱託職員報酬、共済費、費用弁償(1人分) 2,411千円 ○旅費 56千円 専門課程国土調査職員研修費1人分(5/19～23) 49千円 地籍調査説明会及び担当者会議 7千円 ○地籍調査支援システム保守業務委託料、システム使用料 319千円 ○地籍調査パソコン等購入(1台)、設置業務委託料 432千円 ○地籍調査業務委託料 2,614千円 地籍図根三角点測量 隣接地調査、調査素図作成 ○地籍調査事務費等 46千円			
主な財源	府補 地籍調査事業補助金(3/4)			4,401千円
評価・課題等	○実施地区内の基礎的な測量及び土地・地権者等の整理ができた。 ○事業の効率化を図るため、地元区に事業の必要性を理解してもらい、協力体制を築く必要がある。			
事業所管課		建設部／管理課		